

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7年 4月 15日	
愛知県知事 殿	
提出者 住 所 春日井市鳥居松町4丁目32番地 氏 名 株式会社 松浦組 代表取締役 松浦孝彦 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0568-84-3111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 松浦組
事業場の所在地	愛知県春日井市鳥居松町4丁目32番地
計画期間	令和7年 4月 1日～令和8年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06:総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 : 105,696万円
③ 従業員数	34人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリートがら→再生処理業者に委託して(再生砕石)→再資源化 アスファルトがら→再生処理業者に委託して(再生合材)→再資源化 木くず→再生処理業者に委託して(燃料チップ)→再資源化 金属くず→中間処理業者に委託して原料として再資源化 建設汚泥→再生処理業者に委託して(再生砂・再生土)→再資源化 混合物→中間処理業者に委託して(破碎・選別)→再資源化・燃料・埋立

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 取締役工事本部長 産業廃棄物処理統括責任者 ↓ 工事部長 産業廃棄物管理責任者 ↓ 各現場代理人			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 ※別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・現場における廃棄物の分別を徹底する。		
② 計画	【目標】 ※別紙1のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・混合ごみを減らし再生資源となるようにする。 ・工事現場毎に、協力業者を含んだ着手前協議で、再生利用率を高める取組を行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・がれき類、木くず、廃プラスチック類はそれぞれに分別して保管している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・混合廃棄物(安定型)について、分別収集を徹底して排出量の減少を図る。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】 ※別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
② 計画	【目標】 ※別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【(令和5年度) 実績】 ※別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。 ・委託先の処理能力等について確認をする。		

② 計画	【目標】 ※別紙2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・委託先処理業者の定期的な確認を実施する。 ・産業廃棄物処理を優先的に再生利用可能な業者に委託する。 ・委託業者は可能な限り、優良認定処理業者を選定する。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート塊)	がれき類 (アスファルト コンクリート塊)	汚泥 (建設汚泥)	金属くず	木くず (幹・根株)	混合廃棄物 (安定型)	廃プラスチック類 (ビニルシート類)	紙くず	がれき類 (石綿含有)
	排出量	3067.44t	923.84t	98.12t	0t	106.13t	150.3t	0t	0t	0.26t
	(これまでに実施した取組) ・ 現場における廃棄物の分別を徹底する。									
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート塊)	がれき類 (アスファルト コンクリート塊)	汚泥 (建設汚泥)	金属くず	木くず (幹・根株)	混合廃棄物 (安定型)	廃プラスチック類 (ビニルシート類)	紙くず	がれき類 (石綿含有)
	排出量	2500t	1000t	100t	0t	100t	150t	0t	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) ・ 混合ごみを減らし再生資源となるようにする。 ・ 工事現場毎に、協力業者を含んだ着手前協議で、再生利用率を高める取組を行う。									
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート塊)	がれき類 (アスファルト コンクリート塊)	汚泥 (建設汚泥)	金属くず	木くず (幹・根株)	混合廃棄物 (安定型)	廃プラスチック類 (ビニルシート類)	紙くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	
	(これまでに実施した取組) ・ 特になし									
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート塊)	がれき類 (アスファルト コンクリート塊)	汚泥 (建設汚泥)	金属くず	木くず (幹・根株)	混合廃棄物 (安定型)	廃プラスチック類 (ビニルシート類)	紙くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	
	(今後実施する予定の取組) ・ 特になし									
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項										
①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート塊)	がれき類 (アスファルト コンクリート塊)	汚泥 (建設汚泥)	金属くず	木くず (幹・根株)	混合廃棄物 (安定型)	廃プラスチック類 (ビニルシート類)	紙くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	
	(これまでに実施した取組) ・ 特になし									
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート塊)	がれき類 (アスファルト コンクリート塊)	汚泥 (建設汚泥)	金属くず	木くず (幹・根株)	混合廃棄物 (安定型)	廃プラスチック類 (ビニルシート類)	紙くず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	
	(今後実施する予定の取組) ・ 特になし									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート塊)	がれき類 (アスファルト コンクリート塊)	汚泥 (建設汚泥)	金属くず	木くず (幹・根株)	混合廃棄物 (安定型)	廃プラスチック類 (ビニールシート類)	紙くず	がれき類 (石綿含有)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・ 特になし									
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート塊)	がれき類 (アスファルト コンクリート塊)	汚泥 (建設汚泥)	金属くず	木くず (幹・根株)	混合廃棄物 (安定型)	廃プラスチック類 (ビニールシート類)	紙くず	がれき類 (石綿含有)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 特になし									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート塊)	がれき類 (アスファルト コンクリート塊)	汚泥 (建設汚泥)	木くず (幹・根株)	混合廃棄物 (安定型)	がれき類 (石綿含有)			
	全処理委託量	3,067.44	923.84	98.12	106.13	150.3	0.26			
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	5.8 t	99.68 t	132.3 t	0 t			
	再生利用業者への処理 委託量	3067.44 t	923.84 t	92.32 t	6.45 t	18 t	0.26 t			
	認定熱回収業者への処理 委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t			
(これまでに実施した取組)										
・ 可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。										
・ 委託先の処理能力等について確認をする。										
②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート塊)	がれき類 (アスファルト コンクリート塊)	汚泥 (建設汚泥)	金属くず	木くず (幹・根株)	混合廃棄物 (安定型)	廃プラスチック類 (ビニルシート類)	紙くず	がれき類 (石綿含有)
	全処理委託量	2500 t	1000 t	100 t	0 t	100 t	150 t	0 t	0 t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	100 t	150 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理 委託量	2500 t	1000 t	100 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理 委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)										
・ 委託先処理業者の定期的な確認を実施する。										
・ 産業廃棄物処理を優先的に再生利用可能な業者に委託する。										
・ 委託業者は可能な限り、優良認定処理業者を選定する。										